



岡山県マスコット「むむっち」

採点システムの導入で業務の効率化！

県教育委員会では、令和4年3月に「**令和4～6年度 学校における働き方改革 重点取組※**」を策定しました。教職員の心身の健康が教育の質の向上につながることから、**月45時間超**の教職員**ゼロ**を目指して月当たりの時間外在校等時間を3年間で**15%以上**削減することを目標としています。また、今年1年間では、月80時間超の教職員ゼロの実現を目指しています。

これらの実現に向け、重点取組の「業務の効率化と環境整備」の具体的な内容として、「**新しい取組（採点システム導入等）の推進**」を掲げています。

※詳しくはこちらのQRコードから確認できます。



Pick Up!

県立玉島高校の実践



岡山県マスコット「うらっち」

県立玉島高校では、昨年度、採点システムを導入し、その効果と課題の検証を行いました。



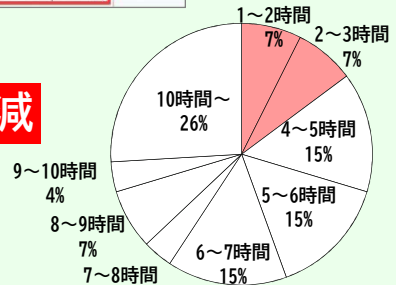
■実践の流れ

| | |
|-----|-------------------|
| 6月 | 職員会議で採点システムの紹介 |
| 7月 | 期末考査で紙と並行採点での試験運用 |
| 8月 | 課題考査で試験運用 |
| 10月 | 採点システム使用方法研修 |
| 10月 | 中間考査で本格運用 |
| 3月 | 効果と課題の検証と次年度使用の決定 |



■平均採点時間

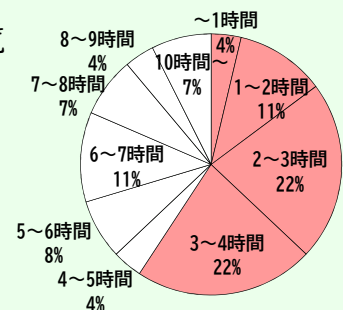
- ・従来どおり紙で採点した場合 **7.8時間**
 - ・採点システムを使用した場合 **4.2時間**
- 約54%に減**



■4時間以内に採点が終わった教員の割合

- ・従来どおり紙で採点した場合 **14%**
- ・採点システムを使用した場合 **59%**

従来どおり紙で採点した場合



採点システムを使用した場合

■効果と課題の検証

- 記号問題の自動採点、得点の自動計算、生徒の解答の一覧表示による比較などを活用し、**採点時間を短縮**できる。
- 設問ごとの正答率など試験の分析を簡単に行うことができ、生徒へのフィードバックにも活用できる。
- 特に採点システム導入の効果の高かった教科として、**国語、英語**が挙げられた。
- ▲解答用紙の取込、採点した解答用紙の出力、部分点のメモ・コメント等の入力に手間がかかることがある。
- ▲印刷用紙やインク代などの**費用が増える**。

検証の結果、県立玉島高校では、今年度も採点システムを活用することとなりました。

お知らせ

県教育委員会では、採点システム活用の推進に向け、**今年度、県立高校、県立中学校、県立中等教育学校を対象に採点システム研究校を募集**しています。応募の締切は、5月30日（月）です。詳しくは、教評第127号「令和4年度採点システム研究校の募集について」をご確認ください。